

スーパー大区画導入実証事業



国際化に対応できる低コストな水田農業経営の実現に向けて、3～5ha規模のスーパー大区画等の有効性を実証する事業に取り組んでいます。

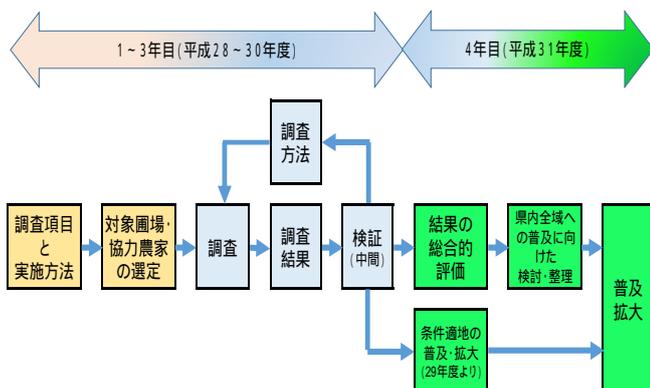
【検証項目】

- ・ほ場の大区画化による**作業の効率化**
- ・畦畔減少による**除草作業の軽減**
- ・自動給水栓の導入による**水管理作業の軽減**
- ・低コスト生産に有効な**水稻直播栽培の導入拡大**

【調査内容】

下野市磯部地内において2.6 ha区画、0.39 ha、0.46 ha、0.85 haの水田で区画規模、自動給水栓の有無等の条件の違いによる労働時間や収量等を調査し、学識経験者、農業者、土地改良区、行政機関などで構成する検討会で効果の検証に取り組んでいます。

【スケジュール】



【空から見た実証ほ場】
(下野市武名瀬川地区)